



平成28年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年2月9日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 ハークスレイ

コード番号 7561 URL <http://www.hurxley.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役会長兼社長 (氏名) 青木 達也

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部本部長 (氏名) 井手 是幸

TEL 06-6376-8088

四半期報告書提出予定日 平成28年2月9日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年3月期第3四半期の連結業績(平成27年4月1日～平成27年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第3四半期	36,574	0.1	683	12.9	1,083	△11.0	1,318	29.5
27年3月期第3四半期	36,532	△3.5	605	35.3	1,218	19.2	1,018	59.5

(注) 包括利益 28年3月期第3四半期 1,348百万円 (25.0%) 27年3月期第3四半期 1,078百万円 (58.7%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第3四半期	134.98	134.70
27年3月期第3四半期	102.02	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
28年3月期第3四半期	37,309	19,030	51.0	2,026.77
27年3月期	37,465	18,847	50.2	1,883.28

(参考) 自己資本 28年3月期第3四半期 19,018百万円 27年3月期 18,802百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	13.00	—	20.00	33.00
28年3月期	—	20.00	—	—	—
28年3月期(予想)	—	—	—	20.00	40.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成28年3月期の連結業績予想(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	51,300	5.5	958	14.9	1,260	△20.0	1,360	10.5	139.25

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有
新規 一社 (社名) 、 除外 1社 (社名) 株式会社ほっかほっか亭総本部
(注)詳細は、添付資料P3「2. サマリー情報(注記事項)に関する情報(1)当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動」をご覧ください。

- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

- (4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
② 期末自己株式数
③ 期中平均株式数(四半期累計)

28年3月期3Q	11,025,032 株	27年3月期	11,025,032 株
28年3月期3Q	1,641,373 株	27年3月期	1,040,859 株
28年3月期3Q	9,771,715 株	27年3月期3Q	9,985,080 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。なお、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく、四半期財務諸表のレビュー手続は終了いたしております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、本資料の発表日現在で入手可能な情報に基づいて作成されており、実際の業績は様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府による経済・金融政策を背景に、輸出企業を中心とした業績や雇用環境に改善が見られる等、穏やかな回復基調にはあるものの、当社グループが属する「食」の分野では、円安による原材料価格の上昇や、販売価格の上昇など消費行動を抑制する要因もあり、先行きは依然として不透明な状況が続いております。

このような環境の中、持ち帰り弁当事業では、食に対する安心、安全への「こだわり」をビジネスの中心に据え、多様化する消費者のニーズに対応するための顧客満足度向上に注力し、店舗従業員の接客マナー向上研修や商品開発、メニューのリニューアルを進めてまいりました。また、店舗管理事業で安定収益を確保するとともに、店舗委託事業においても積極的な新規出店・優良物件の仕入を進めてまいりました。

このような中、当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高365億74百万円（前年同期比0.1%増）、営業利益6億83百万円（前年同期比12.9%増）、経常利益10億83百万円（前年同期比11.0%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益13億18百万円（前年同期比29.5%増）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

①持ち帰り弁当事業

地域の皆様の豊かな食生活に貢献する「わたしの街の台所」として、常に身近な存在であり続けるべく、手作りによる家庭の温もり、まごころ、安心感をお届けする信頼の食を追求しております。ほっかほっか亭創業以来の看板メニュー「のり弁当」をリニューアルしたほか、「平日昼得キャンペーン」の継続により期間限定の低価格商品を継続して発売しました。また、今夏に続き「リラックマ 冬のオードブルキャンペーン」を実施しました。

さらに、高齢者向け宅配サービス事業「ほっか食楽」については、商品ラインナップのリニューアルを図り、顧客満足度の向上に取り組んで参りました。

この結果、持ち帰り弁当事業の売上高は164億円（前年同期比1.7%減）、営業利益は11億25百万円（前年同期比1.2%減）となりました。

②店舗委託事業

店舗委託事業においては、不採算店舗を解約・閉鎖することで減価償却費や空家賃を圧縮し、利益率の向上を図るとともに、三大都市圏を中心に積極的に物件の仕入を行い、新規出店を拡大することで収益の向上・安定化に努めてまいりました。

この結果、店舗委託事業の売上高は、169億85百万円（前年同期比2.7%増）、営業利益は2億44百万円（前年同期比131.8%増）となりました。

③店舗管理事業

店舗管理事業においては、一部保有物件を前期に売却したことにより賃料収入が減少し売上高は前年比マイナスとなったものの、当社が保有する物件の稼働率の向上に努め、管理コストの削減にも取り組み、また前期より新たに展開してきたビル管理受託業務においても、ビルオーナーに対する建物のトータルマネジメントの請負やバリューアップのフルサポートの提案を行うことで管理数を順調に伸ばし収益の安定化を図ってまいりました。

この結果、店舗管理事業の売上高は、4億55百万円（前年同期比6.5%減）、営業利益は2億57百万円（前年同期比0.7%増）となりました。

④店舗直営事業

外食産業におきましては、個人消費の回復傾向を背景に、全体として堅調に推移しているものの、労働需給ひっ迫に伴う人件費の上昇等により依然厳しい環境が続いております。

このような状況の中、びっくり寿司を運営する店舗直営事業では、人材の補充を通してメニュー開発力の強化を図ったほか、シフト管理や在庫管理の徹底によるFL率（人件費率、原価率）の低減に取り組みました。また、美しく視認されやすい店舗にするため外観の改装を行い、集客力とリピーター率の向上を目的にTポイントジャパン導入や新聞折込チラシの活用を行うなど、売上ならびに利益の向上に努めてまいりました。

しかしながら、引き続き再開等による閉店、撤退による影響は大きく、来店客数においても前年対比減少となりました。この結果、店舗直営事業の売上高は、9億96百万円（前年同期比5.8%減）、営業損失は25百万円（前年同期は営業損失29百万円）となりました。

⑤その他の事業

フレッシュ・ベーカリー事業におきましては、引き続き生産効率の向上と、毎月の新商品の提案に力を入れております。「新鮮」「焼きたて」「手づくり」をモットーとして丁寧に焼き上げたパンを提供し、ご好評を頂いております。

物流関連事業におきましては、既存の物流基盤の強化だけでなく、グループ外企業に対して自社加工品の販売を核とした製造・販売・物流の一气通貫サービスを提案し、高い評価をいただき、関東地区を中心に大きく広がりをみせています。

この結果、その他の事業の売上高は、17億36百万円（前年同期比2.0%減）、営業利益は46百万円（前年同期比35.6%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ1億56百万円減少し、373億9百万円となりました。主な要因として、商品及び製品が2億9百万円、繰延税金資産が3億82百万円増加しましたが、現金及び預金が6億49百万円減少したことによるものです。

負債は、前連結会計年度末に比べ3億39百万円減少し、182億78百万円となりました。主な要因として、短期借入金が5億49百万円、長期借入金が3億50百万円増加しましたが、1年内返済予定の長期借入金11億55百万円減少したことによるものです。

非支配株主持分を含めた純資産は、前連結会計年度末に比べ1億82百万円増加し190億30百万円となりました。自己資本比率は前連結会計年度末の50.2%から0.8ポイント上昇し51.0%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第3四半期累計期間の連結業績は想定した範囲内の実績であり、平成28年3月期通期の連結業績予想につきましては、平成27年8月11日に公表いたしました「通期連結業績予想の修正、通期個別業績予想の前期実績値との差異及び合併に伴う繰延税金資産の計上に関するお知らせ」から変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

当社の連結子会社であった株式会社ほっかほっか亭総本部は、平成27年10月1日付で当社を存続会社とする吸収合併により消滅したため、当第3四半期連結会計期間より連結の範囲から除外しております。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

（企業結合に関する会計基準等の適用）

「企業結合に関する会計基準」（企業会計基準第21号 平成25年9月13日。以下「企業結合会計基準」という。）、「連結財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第22号 平成25年9月13日。以下「連結会計基準」という。）及び「事業分離等に関する会計基準」（企業会計基準第7号 平成25年9月13日。以下「事業分離等会計基準」という。）等を第1四半期連結会計期間から適用し、支配が継続している場合の子会社に対する当社の持分変動による差額を資本剰余金として計上するとともに、取得関連費用を発生した連結会計年度の費用として計上する方法に変更しております。また、第1四半期連結会計期間の期首以後実施される企業結合については、暫定的な会計処理の確定による取得原価の配分額の見直しを企業結合日の属する四半期連結会計期間の四半期連結財務諸表に反映させる方法に変更しております。加えて、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第3四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

企業結合会計基準等の適用については、企業結合会計基準第58-2項(4)、連結会計基準第44-5項(4)及び事業分離等会計基準第57-4項(4)に定める経過的な取扱いに従っており、第1四半期連結会計期間の期首時点から将来にわたって適用しております。

この結果、当第3四半期連結累計期間の税金等調整前四半期純利益は49,836千円減少しております。また、当第3四半期連結会計期間末の資本剰余金が49,836千円増加しております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	7,475,513	6,826,449
受取手形及び売掛金	1,796,902	1,834,043
商品及び製品	463,546	672,853
原材料及び貯蔵品	135,513	148,026
繰延税金資産	215,080	198,550
その他	833,254	926,928
貸倒引当金	△45,947	△37,059
流動資産合計	10,873,863	10,569,792
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	6,453,084	6,305,019
機械装置及び運搬具(純額)	101,435	91,719
工具、器具及び備品(純額)	354,067	378,573
土地	11,152,746	11,152,746
リース資産(純額)	105,793	90,211
建設仮勘定	36,790	53,560
有形固定資産合計	18,203,917	18,071,830
無形固定資産		
のれん	138,194	111,905
その他	172,568	218,127
無形固定資産合計	310,763	330,033
投資その他の資産		
投資有価証券	1,706,434	1,782,856
長期貸付金	140,683	120,835
敷金及び保証金	5,568,054	5,568,228
繰延税金資産	60,818	459,921
長期未収入金	1,390,405	1,357,307
その他	591,414	423,506
貸倒引当金	△1,380,894	△1,375,175
投資その他の資産合計	8,076,916	8,337,479
固定資産合計	26,591,597	26,739,343
資産合計	37,465,460	37,309,135

（単位：千円）

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年12月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	2,421,442	2,579,283
短期借入金	670,068	1,219,947
1年内返済予定の長期借入金	2,115,700	960,700
未払金	872,054	975,792
未払法人税等	284,607	15,276
未払消費税等	328,753	117,474
賞与引当金	170,599	118,828
その他	1,667,019	1,877,287
流動負債合計	8,530,245	7,864,590
固定負債		
社債	22,500	-
長期借入金	5,644,065	5,994,540
退職給付に係る負債	43,080	42,471
長期預り保証金	3,465,452	3,587,246
繰延税金負債	260,485	243,216
資産除去債務	397,138	385,799
その他	255,017	161,072
固定負債合計	10,087,740	10,414,346
負債合計	18,617,985	18,278,937
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,036,649	4,036,649
資本剰余金	3,930,816	3,980,653
利益剰余金	12,214,773	13,140,064
自己株式	△1,516,253	△2,306,479
株主資本合計	18,665,985	18,850,887
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	136,980	167,638
その他の包括利益累計額合計	136,980	167,638
新株予約権	2,869	6,728
非支配株主持分	41,640	4,943
純資産合計	18,847,475	19,030,198
負債純資産合計	37,465,460	37,309,135

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)
売上高	36,532,894	36,574,202
売上原価	27,855,006	27,896,532
売上総利益	8,677,887	8,677,669
販売費及び一般管理費	8,072,383	7,994,159
営業利益	605,503	683,510
営業外収益		
受取利息	5,628	4,531
受取配当金	6,801	8,298
受取賃貸料	152,510	147,413
負ののれん償却額	204,733	—
業務委託契約解約益	103,650	107,976
持分法による投資利益	146,116	21,402
その他	153,129	210,350
営業外収益合計	772,570	499,972
営業外費用		
支払利息	48,360	38,734
賃貸費用	35,829	25,743
業務委託契約解約損	41,195	6,101
その他	34,421	28,996
営業外費用合計	159,806	99,576
経常利益	1,218,268	1,083,906
特別利益		
固定資産売却益	12,172	11,072
投資有価証券売却益	—	186
受取和解金	750	—
負ののれん発生益	92,192	—
受取保険金	25,994	—
受取補償金	—	95,546
その他	—	13,313
特別利益合計	131,109	120,119
特別損失		
固定資産除却損	30,019	10,999
固定資産売却損	12,919	1,181
投資有価証券売却損	1,415	—
投資有価証券評価損	5,300	19,657
減損損失	42,109	23,656
支払補償金	—	66,000
その他	18,090	25,899
特別損失合計	109,855	147,395
税金等調整前四半期純利益	1,239,521	1,056,631
法人税、住民税及び事業税	253,679	152,404
法人税等調整額	△39,543	△415,649
法人税等合計	214,136	△263,244
四半期純利益	1,025,385	1,319,875
非支配株主に帰属する四半期純利益	6,755	920
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,018,629	1,318,955

（四半期連結包括利益計算書）
 （第3四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第3四半期連結累計期間 （自 平成26年4月1日 至 平成26年12月31日）	当第3四半期連結累計期間 （自 平成27年4月1日 至 平成27年12月31日）
四半期純利益	1,025,385	1,319,875
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	40,075	34,300
持分法適用会社に対する持分相当額	12,705	△6,058
その他の包括利益合計	52,780	28,242
四半期包括利益	1,078,165	1,348,118
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,069,980	1,347,060
非支配株主に係る四半期包括利益	8,185	1,057

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

自己株式の取得

当社は、平成27年7月7日開催の取締役会決議に基づき、自己株式600,000株の取得を行いました。この結果、自己株式は、当第3四半期連結累計期間において789百万円増加しております

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				
	持ち帰り 弁当事業	店舗委託事業	店舗管理事業	店舗直営事業	計
売上高					
外部顧客への売上高	16,684,246	16,531,757	487,174	1,057,391	34,760,568
セグメント間の内部売上高又は 振替高	177,336	25,714	—	—	203,050
計	16,861,582	16,557,471	487,174	1,057,391	34,963,619
セグメント利益又は損失(△)	1,139,300	105,683	255,688	△29,159	1,471,512

	その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期 連結損益計算書 計上額(注) 3
売上高				
外部顧客への売上高	1,772,325	36,532,894	—	36,532,894
セグメント間の内部売上高又は 振替高	2,077,640	2,280,691	△2,280,691	—
計	3,849,966	38,813,585	△2,280,691	36,532,894
セグメント利益又は損失(△)	71,857	1,543,370	△937,866	605,503

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに帰属しない事業セグメントであり、物流事業、フレッシュ・ベーカリー事業、店舗総合サービス事業、レストラン事業等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△937,866千円には、セグメント間取引消去△19,926千円、各報告セグメントには配分していない全社費用△917,940千円が含まれております。全社費用は主に報告セグメントに帰属しない親会社である当社管理部門に係る費用であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「店舗委託事業」セグメントにおいて、当第3四半期連結会計期間に、将来の回収可能性を検討した結果、当初予測したキャッシュ・フローが見込めないため、固定資産の帳簿価額を回収可能価額まで減額し、減損損失を計上いたしました。

なお、当該減損損失の計上額は、当第3四半期連結累計期間においては32,720千円であります。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

平成26年12月17日付けで、連結子会社である株式会社ほっかほっか亭総本部、株式会社鹿児島食品サービスの株式を追加取得いたしました。これにより、「持ち帰り弁当事業」セグメントにおいて92,192千円負ののれん発生益を計上しております。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間（自平成27年4月1日至平成27年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント				
	持ち帰り 弁当事業	店舗委託事業	店舗管理事業	店舗直営事業	計
売上高					
外部顧客への売上高	16,400,504	16,985,175	455,340	996,508	34,837,529
セグメント間の内部売上高又は 振替高	167,967	3,033	—	—	171,001
計	16,568,472	16,988,208	455,340	996,508	35,008,530
セグメント利益又は損失（△）	1,125,872	244,975	257,394	△25,393	1,602,848

	その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期 連結損益計算書 計上額 (注) 3
売上高				
外部顧客への売上高	1,736,673	36,574,202	—	36,574,202
セグメント間の内部売上高又は 振替高	2,056,060	2,227,061	△2,227,061	—
計	3,792,733	38,801,264	△2,227,061	36,574,202
セグメント利益又は損失（△）	46,265	1,649,113	△965,602	683,510

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに帰属しない事業セグメントであり、物流事業、フレッシュ・ペーカリー事業、店舗総合サービス事業等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失（△）の調整額△965,602千円には、セグメント間取引消去△13,335千円、各報告セグメントには配分していない全社費用△952,267千円が含まれております。全社費用は主に報告セグメントに帰属しない親会社である当社管理部門に係る費用であります。

3. セグメント利益又は損失（△）は四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

（固定資産に係る重要な減損損失）

該当事項はありません。

（のれんの金額の重要な変動）

該当事項はありません。

（重要な負ののれん発生益）

該当事項はありません。